



## 日本ゲーム大賞 2011 アマチュア部門

## 「CONNECT(コネクト)」

制作者: Trident++ (トライデント プラスプラス)

学校法人河合塾学園トライデントコンピュータ専門学校

大賞を受賞!!

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会

一般社団法人コンピュータエンターテインメント協会(略称:CESA、会長:和田 洋一、所在地:東京都港区は、学校法人河合塾学園トライデントコンピュータ専門学校、「Trident++ (トライデント プラスプラス)」制作の「CONNECT(コネクト)」を「日本ゲーム大賞 2011(Japan Game Awards 2011)アマチュア部門」の大賞に決定しました。

また、本日東京ゲームショウ2011 イベントステージ(展示ホール8)にて、アマチュア部門受賞11作品の中から、優秀賞、佳作の各賞を発表、受賞者への表彰を執り行いました。

アマチュア部門受賞11作品の各賞は、以下の通りです。

## 【日本ゲーム大賞 2011 アマチュア部門 各賞一覧】

受賞	タイトル	プラットフォーム	学校名/受賞者名
大賞	CONNECT (コネクト)	PC	学校法人河合塾学園トライデントコンピュータ専門学校 / Trident++ (ガッコウホウジン カワイジユクガクエン トライデントコンピュータ センモンガッコウ / トライデント プラスプラス)
優秀賞	Annihilate 6 (アナリアルイト シックス)	PC	尚美学園大学 / DELTA (ショウビガクエン タイガク / デルタ)
	CONNECT (コネクト)	PC	学校法人河合塾学園トライデントコンピュータ専門学校 / Trident++ (ガッコウホウジン カワイジユクガクエン トライデントコンピュータ センモンガッコウ / トライデント プラスプラス)
	Sound and Dark (サウンドアンド ダーク)	PC	専門学校サントクノカレッジ / ゲーム制作研究会 (センモンガッコウ サントクノカレッジ / ゲームセイサク ケンキョウカイ)
	Pantomime (パントマイム)	PC	HAL大阪 / ド・レ・ミ・ファブチ (ハル オオサカ / ド・レ・ミ・ファブチ)
	BUTTON PANIC! (ボタン パニック!)	携帯電話	神戸電子専門学校 / 鄭 直 (コウベ デンシ センモンガッコウ / テイ チョク)
佳作	くるくるフレーム	PC	学校法人河合塾学園トライデントコンピュータ専門学校 / 池田 裕司 (ガッコウホウジン カワイジユクガクエン トライデントコンピュータ センモンガッコウ / イケダ ユウジ)
	ここにいたゆうしゃがにげた	PC	新潟コンピュータ専門学校 / チームトリプルオー (ニイガタ コンピュータ センモンガッコウ / チームトリプルオー)
	Sonic Liner (ソニック ライナー)	PC	大阪情報コンピュータ専門学校 / ソニックライナー開発チーム (オオサカ ジョウホウ コンピュータ センモンガッコウ / ソニックライナー カイハツチーム)
	はやぶさ帰還プロジェクト (ハヤブサ キカン プロジェクト)	PC	HAL東京 / 清水 史人 (ハルトウキョウ / シミズ フミヒト)
	Pinch Ball (ピンチ ボール)	PC	学校法人河合塾学園トライデントコンピュータ専門学校 / 徳田 有平 (ガッコウホウジン カワイジユクガクエン トライデントコンピュータ センモンガッコウ / トクダ ユウヘイ)
	Revolve (リボルヴ)	PC	新潟コンピュータ専門学校 / NASS (ニイガタ コンピュータ センモンガッコウ / ナス)

※受賞タイトル:かな 50 音順

※受賞者名敬称略

## 【アマチュア部門 大賞作品について】

「CONNECT」は、ロボット配管工のプランパー君を操り、蒸気が噴出す配管修理、プラグをつなげての電気の供給など、ステージ毎に異なるミッションをクリアするゲーム。ルールは単純明快、プレイする人を選びません。

あたたかみのあるグラフィックで表現された独創的な世界観、キャラクターの細かな動き、そしてグラフィックの細部にまでこだわり、作り込まれた完成度の高い作品です。

## 【選考理由について】

日本ゲーム大賞 2011 アマチュア部門の審査員で大賞のプレゼンターを務めた、株式会社コナミデジタルエンタテインメントの内田 明理 氏から、以下の講評をいただきました：

「明確なコンセプト、誰にでも分かる一般性のあるテーマでありながら、オリジナリティに富んだ遊び。他の作品から頭一つ出ている感じで、満場一致で大賞受賞だったと思います。

シンプルでありながらスキルに合わせて難易度と達成感が上がっていくであろう、楽しさが広がる未来をプレイヤーがイメージしやすいところも、訴求力として強いと感じます。」

日本ゲーム大賞アマチュア部門は、法人、団体、個人、学生、一般を問わずアマチュアの方が制作されたオリジナルの作品を対象に募集(募集期間:2011年3月14日～6月30日)。本年も全国から**194作品**の応募が集まりました。

業界誌編集者、クリエイターによる第1次審査(VTR審査)にて**47作品**、続く、第2次審査(試遊審査)で**17作品**を選出。発表授賞式のプレゼンターおよび各賞の講評を務める業界誌編集長とトップクリエイターによる最終審査(試遊審査)により、**受賞11作品と各賞を決定**しました。

また、受賞された全11作品は「東京ゲームショー2011」会場内展示ホール1、「日本ゲーム大賞2011ブース」のアマチュア部門 受賞作品試遊コーナーで公開中です。未来のクリエイターの作品を是非ご体験ください。

**大賞をはじめ各受賞作品のプレイ画面、選考理由、審査会のレポート等の詳細は、  
日本ゲーム大賞公式サイトURL：<http://awards.cesa.or.jp/> でご覧いただけます。**

**【授賞式の模様や受賞者のフォトセッション画像は下記ダウンロードサイトで公開しています】**

URL : <https://www.filey.jp/tgs/>

(プレス用のIDとPASSの入力が必要です。ID: tgs\_press PASS: press\_tgs )

**【日本ゲーム大賞のロゴおよび各賞の受賞マークは下記からダウンロードできます】**

URL: <http://awards.cesa.or.jp/overview/index.html>

(ID と PASS による認証が必要です。ID : jga2011m PASS : houdou )

## 日本ゲーム大賞 2011 残るは今後期待できる作品を表彰する「フューチャー部門」の発表です。

日本ゲーム大賞 2011 の最後は、東京ゲームショー 2011 で発表、展示された未発売作品の中から、来場者投票と日本ゲーム大賞選考委員会の審査により、今後が期待できる作品を選考、表彰する「日本ゲーム大賞 2011 フューチャー部門」の発表授賞式を、下記の通り開催します。

### **日本ゲーム大賞 2011 フューチャー部門 発表授賞式**

**日 時** : 9月18日(日) 12:00~13:30

**場 所** : 「東京ゲームショー 2011」会場内イベントステージ(8ホール)

**司 会** : 有野晋哉(よゐこ)

※「東京ゲームショー 2011」プレスパスにて、そのままご取材いただけます。

「日本ゲーム大賞」公式サイト:<http://awards.cesa.or.jp/>

**「日本ゲーム大賞」に関するお問い合わせ先**

「日本ゲーム大賞」に関する報道関係者からのお問合せ先:

◆9月18日(日)まで(東京ゲームショー 2011 プレスルーム):電話:043-296-4152 Fax:043-296-4153

◆9月20日(火)以降:「日本ゲーム大賞事務局(CESA 事務局内)」電話:03-3591-1431/FAX:03-3591-1422

e-mail : [awards@cesa.or.jp](mailto:awards@cesa.or.jp)